

エル フ 化 の 薬 2



♂→♀
この作品は女体化の
要素が含まれます

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

あらすじ

辺境の村で衛士として生活していた青年「アルド」。
夜中の見回り中、不審な影を見つけた彼だが、不意打ちによって重傷を負い
更には怪しげな薬で女エルフへと姿を変えられてしまった。
「アトラ」という、新しい名前を添えて。

奴隷商売をしているらしい賊に捕まり、自分も性奴隷として売られるのだと
告げられるアトラ。

刻まれた奴隷紋のせいで満足に抵抗もできず

最後には自らちんぽを求めてしまった彼——彼女は、満身創痍のまま
己を引き取ったエルフの男「アルキド」と共に、エルフの村へ向かう。



アトラ(アルド・クェニア)

奴隷市場でメス堕ちし、アルキドに引き取られた元男の青年。
満身創痍に陥った彼女からは、奴隷たちを助けようと
思案していた以前の面影はもう感じられない。



アルキド・イスタ

アトラを落とし、エルフの村へ連れてきた青年。
その表情にはどこか影が落ちており、よく眉間に皺を寄せている。

リステア

エルフの村の村長、実はとても強い。

エルフの村・端れ

着替え
終わったか

…はい

競りでは
乱暴して悪かった

もうあんな事は
しないから安心
して欲しい

…信じられない
のも無理はない
だが今はついて
きてくれ

村長の所へ
案内する

……

いらっしやい
貴女がアトラちゃんね
適当に座って

…はい

私が
村長のリステアよ

事情はアルから
聞いてるわ
思う所もあるだろうけど
ひとまずよろしくね

アル…？
はあ……

ん？

…

ちよつとアル
貴方自己紹介も
してないの!!

なっ

よっ…余裕が
無かったんだよ!

ア…ンネコ

…でもそうだな
名乗るのが遅れた

アルキドだ

アルでもなんでも
好きに呼んでくれ

じゃあ
俺はこれから
用事に出る
後の事はその女に
聞いてくれ

あつ！

もう…

ごめんなさいね
無理矢理連れて来て
こんな所見せちゃって

いえ…

逃げるの!?

馬鹿言え
アンタの依頼だ
また後でな

元の場所に
帰りたい？

帰れるんですか!?



やっと顔を
あげてくれたわね



おつとごめんなさい
冷やかして言った訳
じゃないの



順を追って
説明するわね

まず貴女に
使われた
エルフ化の薬



…私が
エルフの為に
作ったものよ

は……？
エルフの為……？

私達は奴隷価値が
高いからって
物騒な話に巻き
込まれがちだね

人口がどんどん
減っちゃってて…
最終手段として
作ったの



で…その薬が一つ
手違いで闇市に
流れてしまつてね



在処を突き止めたと
思ったら貴女に…

本当に
申し訳ないわ

…戻れるん
ですか…？



元の姿に…
戻る事は
できるんですか

…残念だけど
今は無理ね

元の姿…
名前すらも
思い出せないん
でしょう？

そんな曖昧な状態じゃ
戻るべき姿が定まら
ないの

奴隷紋は消して
あげるけど
それだけじゃダメ



今なんて…

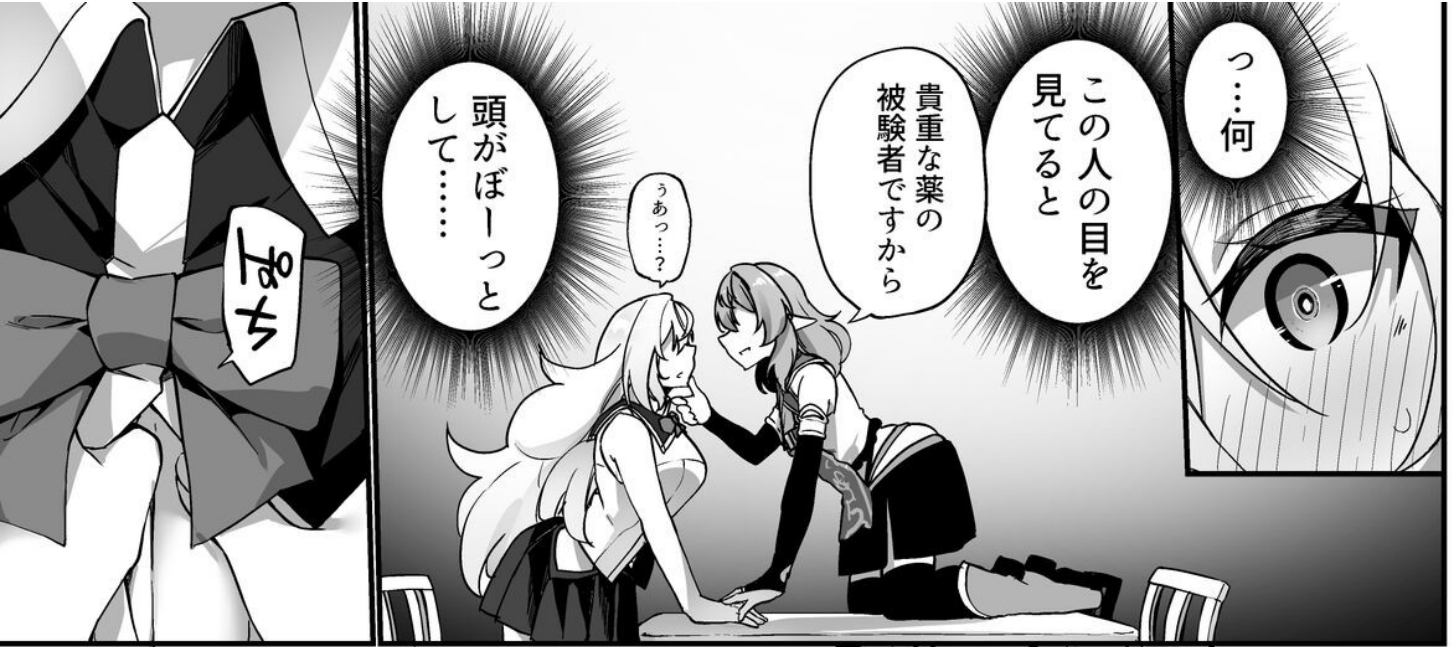
消せるん…
ですか…？

ええ

でも
その前に

少しお願いが
あるの♡









奴隷紋は
消してあげる

でも元に戻るには
自力で姿と名前を
思い出さないと駄目

それで
なんだけど

紋章が…!

アトラさん
しばらくアルと
一緒にいてくれない
かしら

……!



少しの間で
いいから

あの子
アルキドの支え
になってあげて
欲しいの



え…

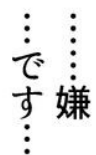
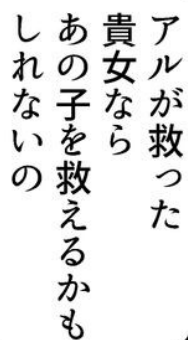
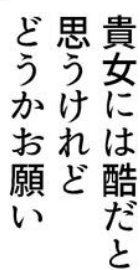
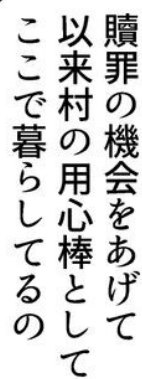
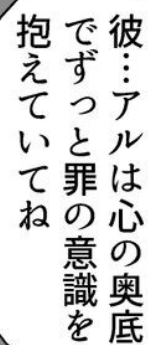
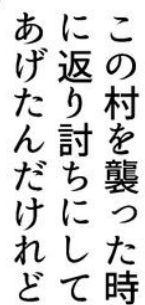
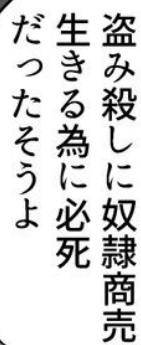
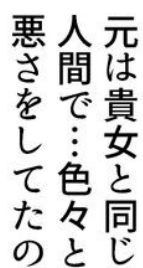
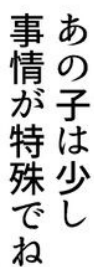
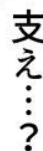
どうして…
ですか…?



アルに色々頼んで
るっていうのも
あるのだけれど…

今のまま帰っても
痛い目を見るのが
関の山でしょう?

それは…



奴隷紋の事は…
感謝しています

でもそれは
そちらの事情
でしょう…？

わたし—僕を
巻き込まないで
…ください

…そうね

それに…
なんですか
「救った」って

他の奴隷を
助けるどころか
僕自身がこんな
体たらくで

男だったって事以外
姿も名前も
記憶すら曖昧で！

無力感と後悔
ばかりで！！

これっぽっちも
救われてなんか
いませんよ…！！

あの時だって
最悪の事態を
避けられただけで

今頃あの子たちが
どんな仕打ちを
受けているのか…

そんなことばかり
頭に浮かんできて



……でも



ごめんなさい
私も軽率だった
わね……



それなら猶更
アルと一緒に
いてほしいの

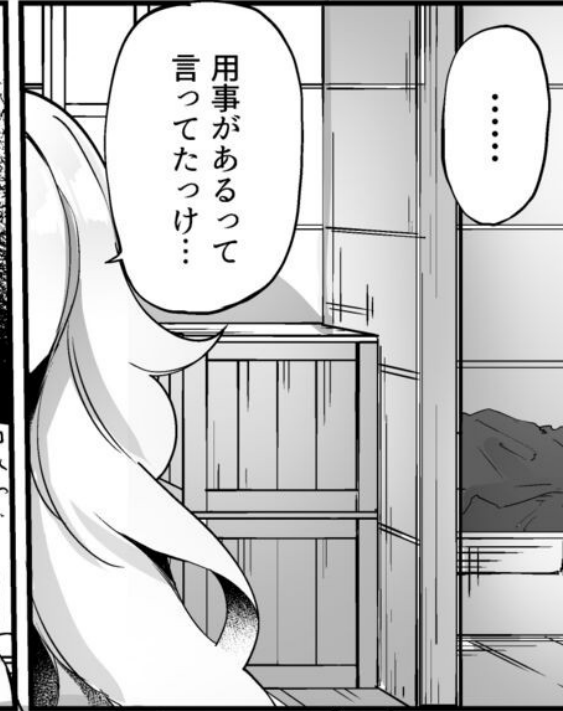
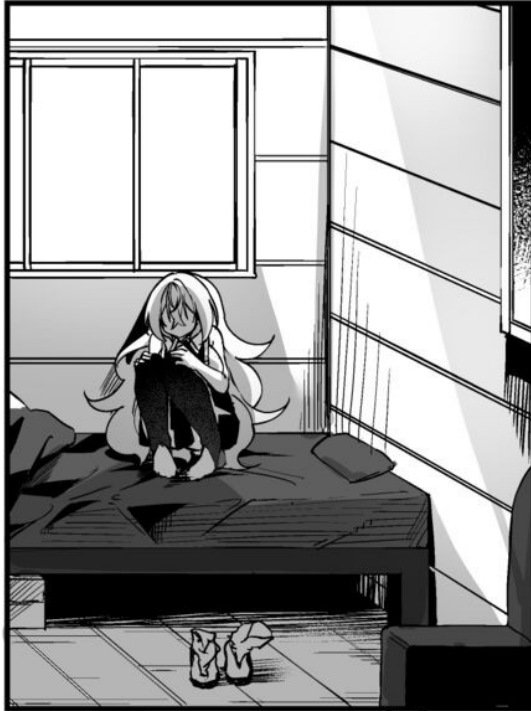
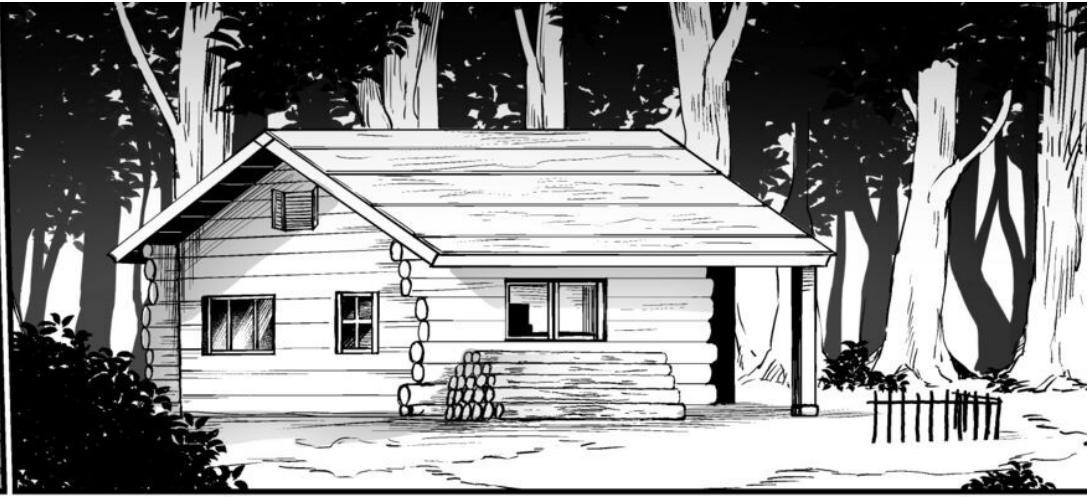
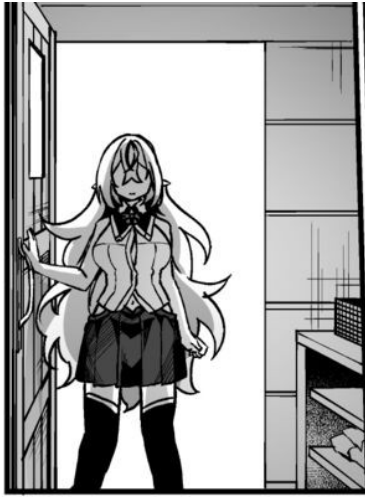


今はわからない
かもしれない
けれど……

どうかお願い……



……





よく眠れたか

あれ…
私…

すまない
驚かせたか…

あ…
いや…

随分…ボロボロ
なんですね…

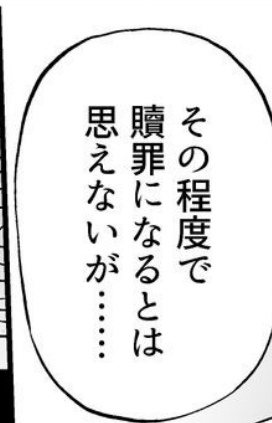
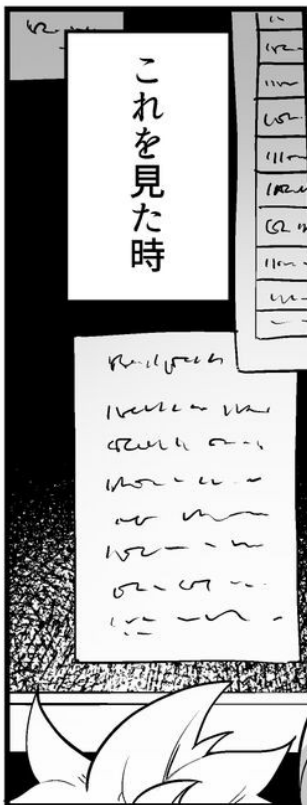
ん…ああ

ベッド…
すみませ

さっきまで走り
回ってたんだ

臭うか？

あつ
いえ…



ありがとう……
本当に……
ありがとうございます……

この人は本当に
悔いているんだ
そんな確信があった

取返しのつかない
罪を犯して……
それでも
罪に向き合って
独り必死に……

ん……ああ……



一生かけても
償えない罪を
一生かけて……



それなら僕も
一時の嫌悪感に
流されちゃいけない

あの……

何か……僕に
できることは
ありませんか

できることなら
なんでもします

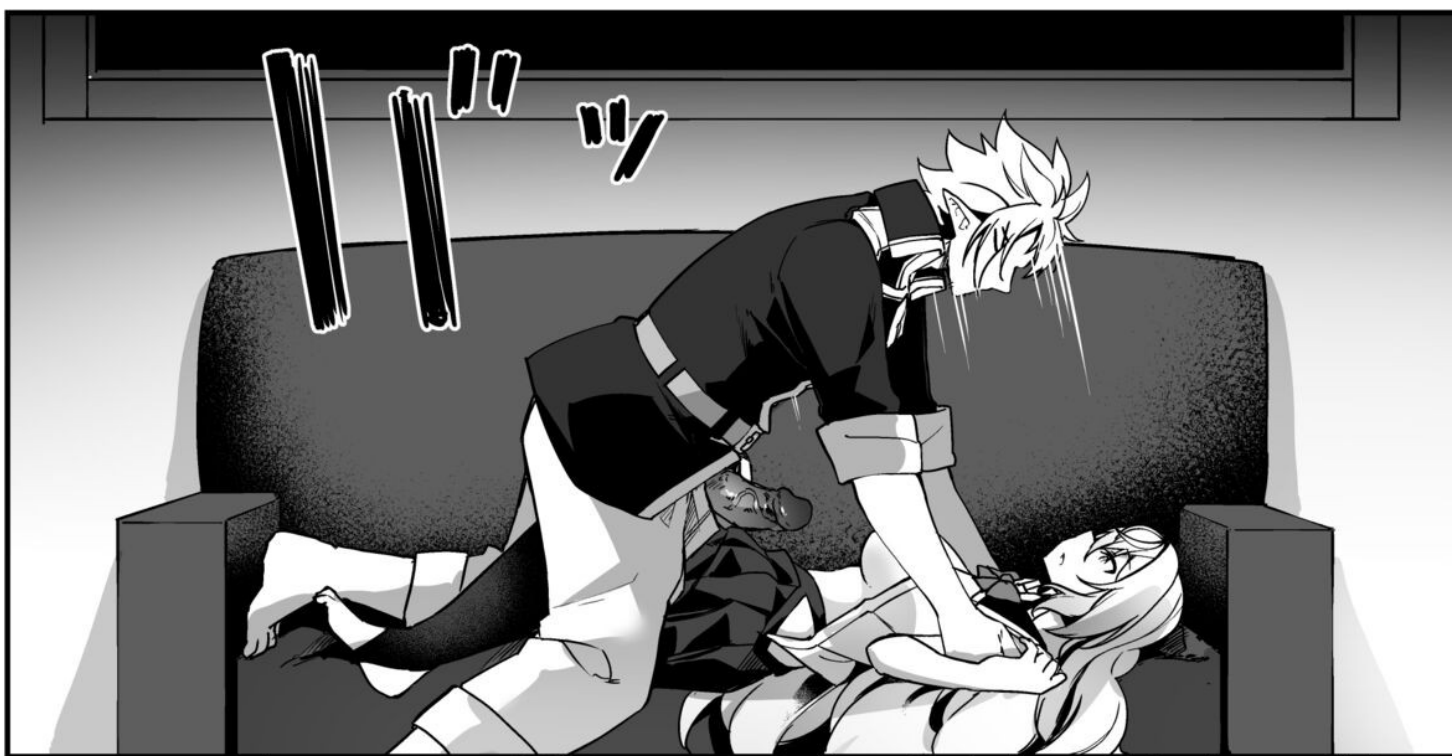
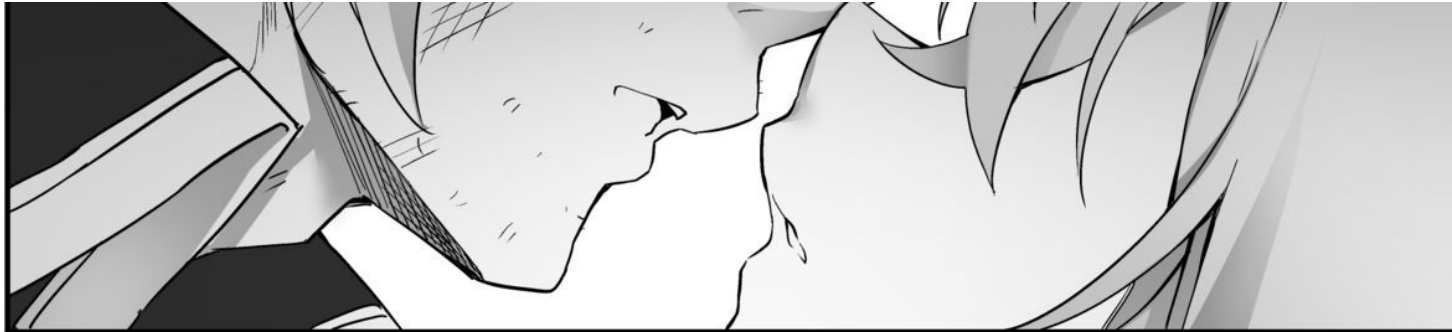
お手伝い……
させてください

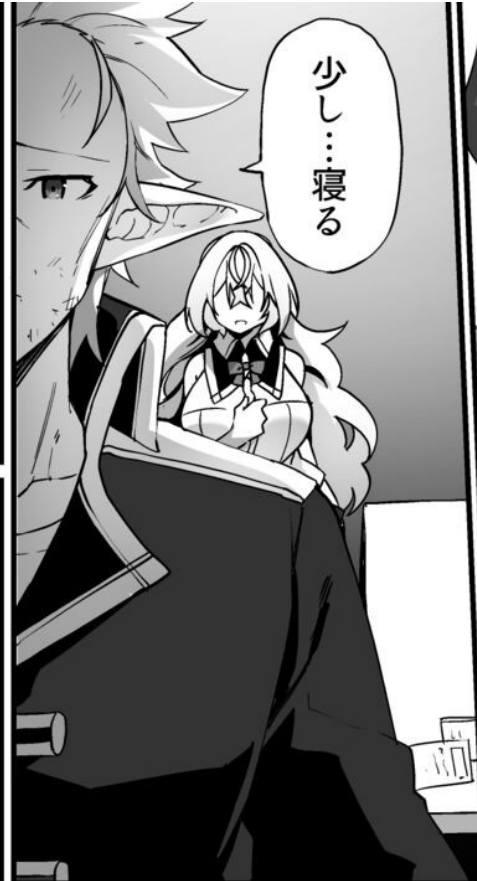
ちゃんと向き合って
この恩に
報いなければ











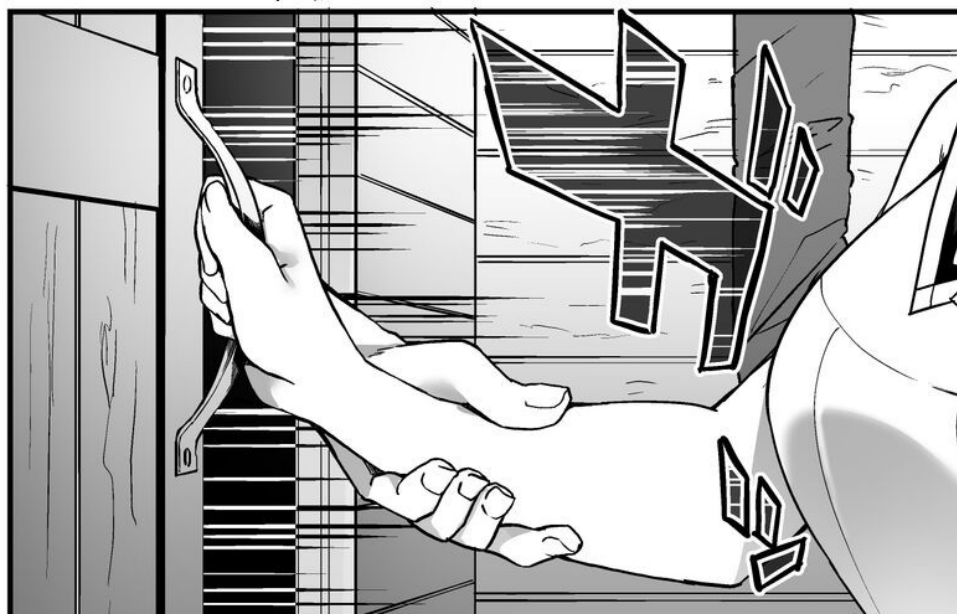
手伝うどころか
傷を抉るような
真似をして……

なのに

なのに
どうして……

指が
止まらな









誰か…

その子から
今すぐ離れる

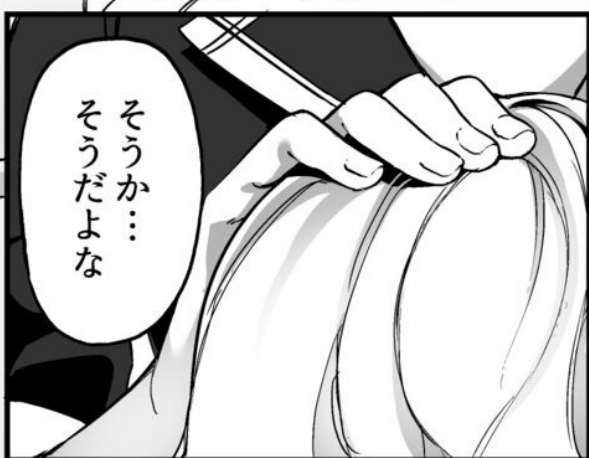
助けてっ…

お前の仲間も
既に全員
捕らえてある

大人しく
降伏するか

とつとと失せる

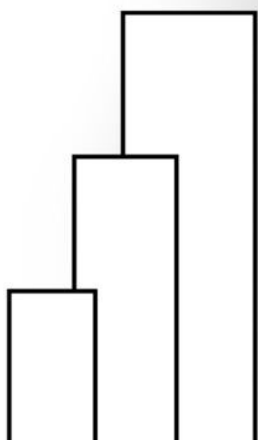
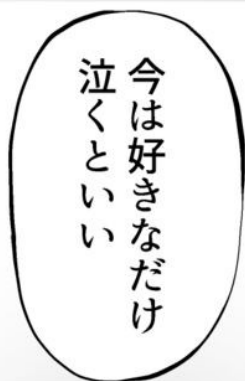




そうか…
そうだよな



怖かったよな



すみません
みつともない所を
お見せして

もう
大丈夫です

そうか…
立てそうか？

ははは…
それはまだ
ちよっと…

ゆっ…

えっと…
助けに来てくれて
ありがとうございます

すごく
心強かったです

…
部屋にあった
搜索願

あれ僕ですよ
…おかげで全部
思い出せました

…そうか
それならもう
安心だな



な…なんだ？



アルキド…さん
一つ…お願いが
あります

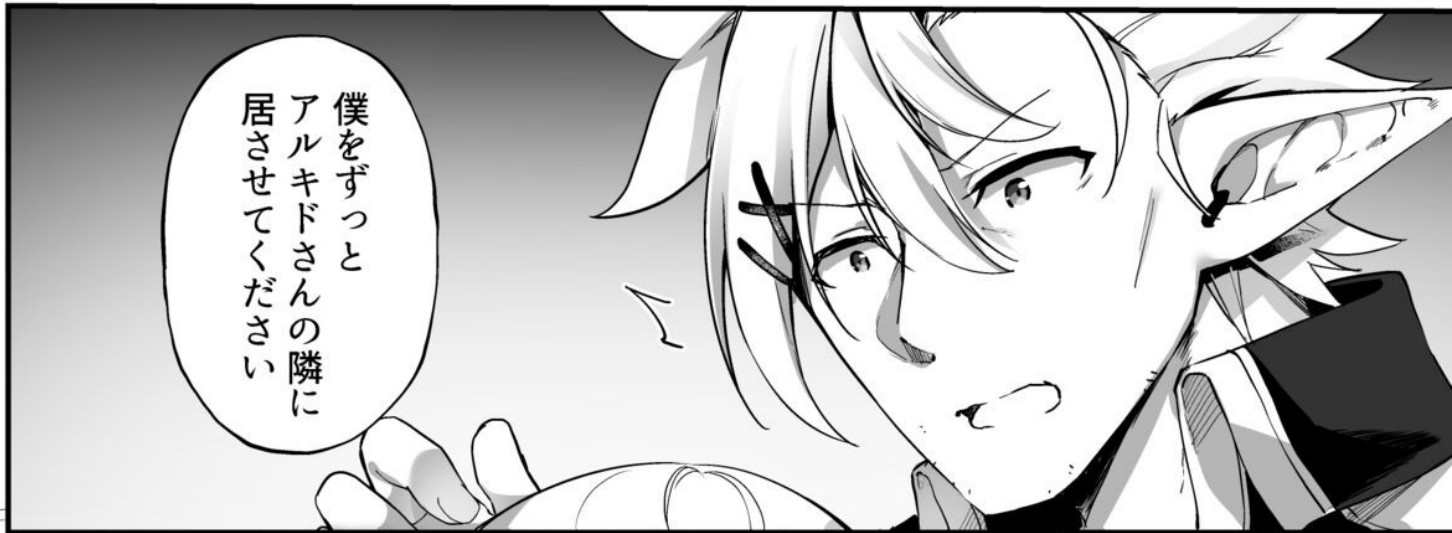


えっと…

それで…
だから

その…

ア…
アトラ…？



僕をずっと
アルキドさんの隣に
居させてください



僕…
アルキドさんの事

い…異性として
好きになっちゃった
みたいです…

なっ…!!
い…いや
元に戻るんじや
ないのか!?

思い出した
ならもう
思い出せた
からです

今の僕では
もう元の仕事に
は戻れません

でも憂いては
いないんです

全部思い出して
助けてもらって
泣いて…そしたら
吹っ切れて

今の自分を
受け入れたら
なんだか…その

やっぱり
嫌…でしょうか

嫌ではない
嬉しいさ
でも俺は…

俺みたいな男に
そんな資格は

とっ

ぎゃ…



ありますよ
資格

アルキドさんは
僕を助けてくれた
じゃないですか

それでも
不満だって
言うのでしたら

僕を惚れさせた
罰です

それでも
…ダメですか？

…俺なんかで
いいのか

貴方が
いいんです

これから
僕が貴方の心の
支えになります

なれるように
頑張ります

…アルキドさん

もう一度
僕を抱いて
くれますか

…ああ

あの…

いざとなると
け…結構
緊張しますね…

…そうか

っあ

も
じ

も
じ

む

それなら
ちゃんと
解さないと

うあっ!?

きゃ
♡



ヒ

あー

あー

ん

めい

おっぱ

ぐり

やあ

ちくび
敏感になっている
からっ

あー

あー

ぐり

ん

おしちや
やだっ

ぐり

あー

あー

あー

ぐり

ぐり









アルキドさん
大好きですっ...♡

あー...
おれ...♡

...ああ
俺もだよ









構わないが
どうした急に

アルって呼んでも
いいですか…？

…アルキドさん

なんだ？



いえ

なんでも
ありません♪

そ…そうか

ギョウウウ

それから数年――

ああ！

アル！
そっちに
行きました



これで全員か

僕は故郷に帰らない
旨の手紙を送り
今もアルと二人で
暮らしています

はい
そのようです

クソっ…

むっ

ホラ
ウデ出して!!

もうまた怪我して
気を付けてって
言ったじゃないですか

ん…ああ
すまない

身体が変わって
大変な事も多いけれど
もう俯いたりはしない
だって

でも君のサポート
あってこそ
この程度で済んでいる

いつもありがとう
アトラ

今がこんなにも
幸せなのだから――

ふっ
えっ



Fin

あとがき

本作をお手に取ってくださり
ありがとうございます。かんむりです。
本作はc97での作品
「罰として堕ちてゆく」が下地にある作品でした。
実質的な続編ですね。
しかしながら少しややこしいのがアルキド君です。
罰として本編ではTSしていた彼が何故……？
・罰として後、記憶共々元の姿に戻った
・アルキドが♀エルフにならなかった別ルート
どっちはご想像におまかせします\('ω')/
また細かい所の解説記事をFANBOXに上げる予定
なので、もしよろしければご支援の方も
よろしくお願いします……！

22年1月某日

Kannmuri

奥付

発行：すらいむのかんむり

著者：かんむり

発行日：2022/2/20

印刷：ねこのしっぽ

著者Twitter：@kannmuri0227

連絡先：kannmuri227@gmail.com





すらいむのかんむり